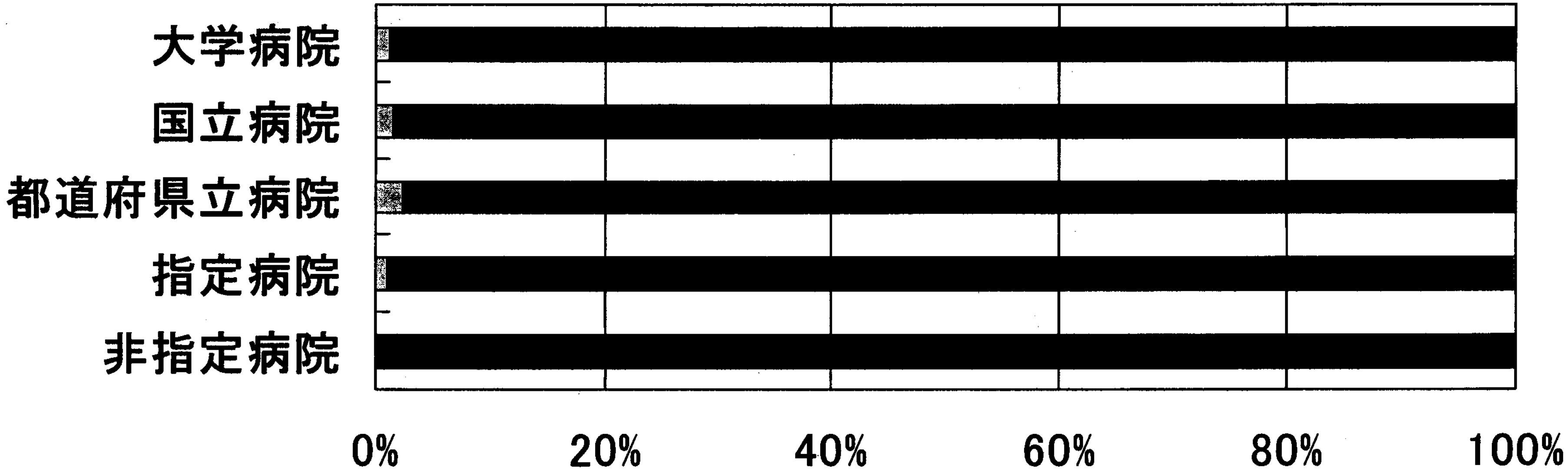
良質な医療を効率的に提供し退院を促進する体制づくりに係る基礎資料

資料４－１

入院形態別設置主体別入院患者数

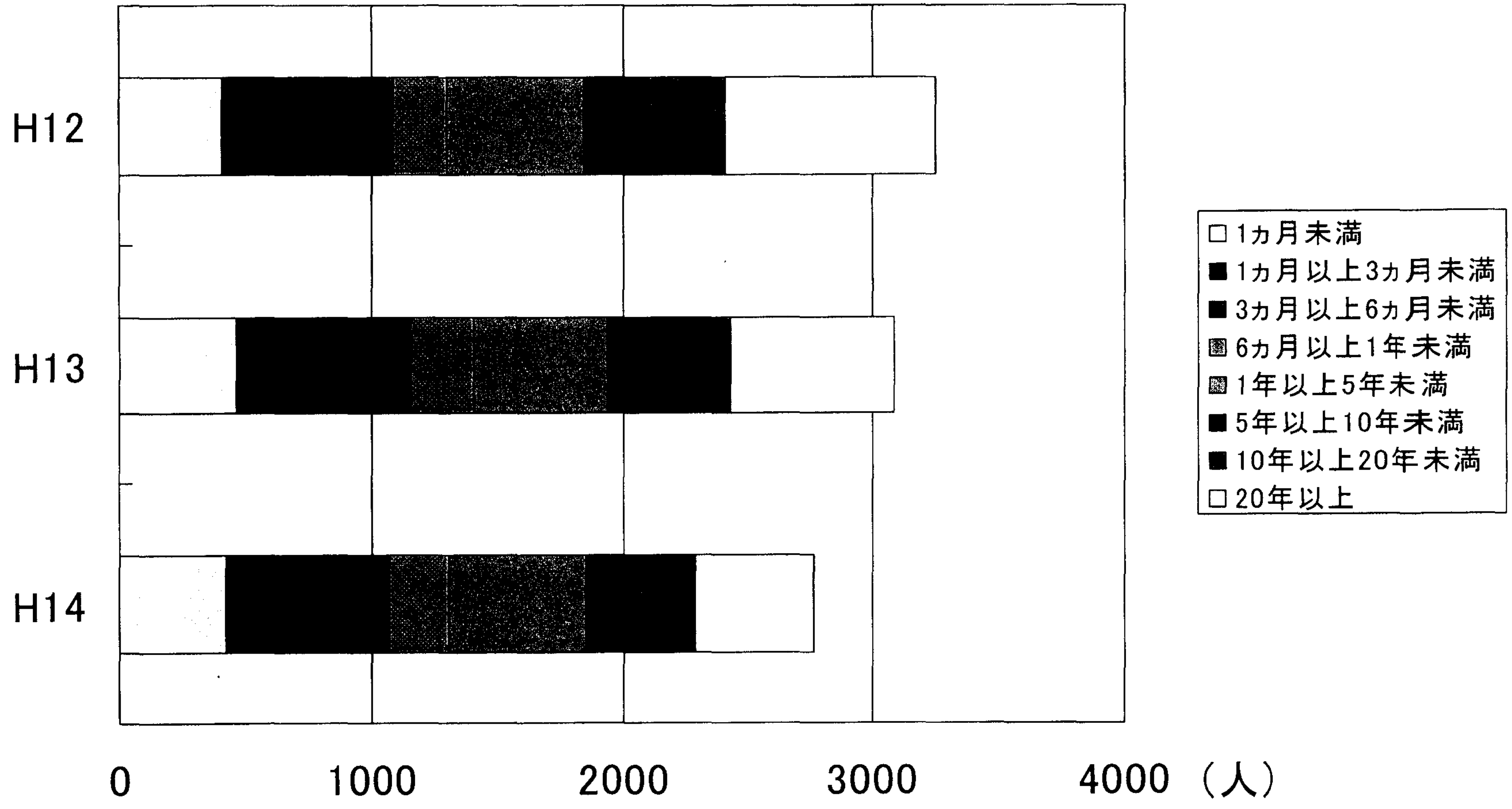


	非指定病院	指定病院	都道府県立病院	国立病院	大学病院
■その他	1591	634	246	127	9
■任意入院	48765	151749	6303	2927	2271
■医療保護入院	18705	83712	6250	2480	1514
□措置入院	0	2324	313	87	43

資料:精神保健福祉課調 （H14）

資料4－2

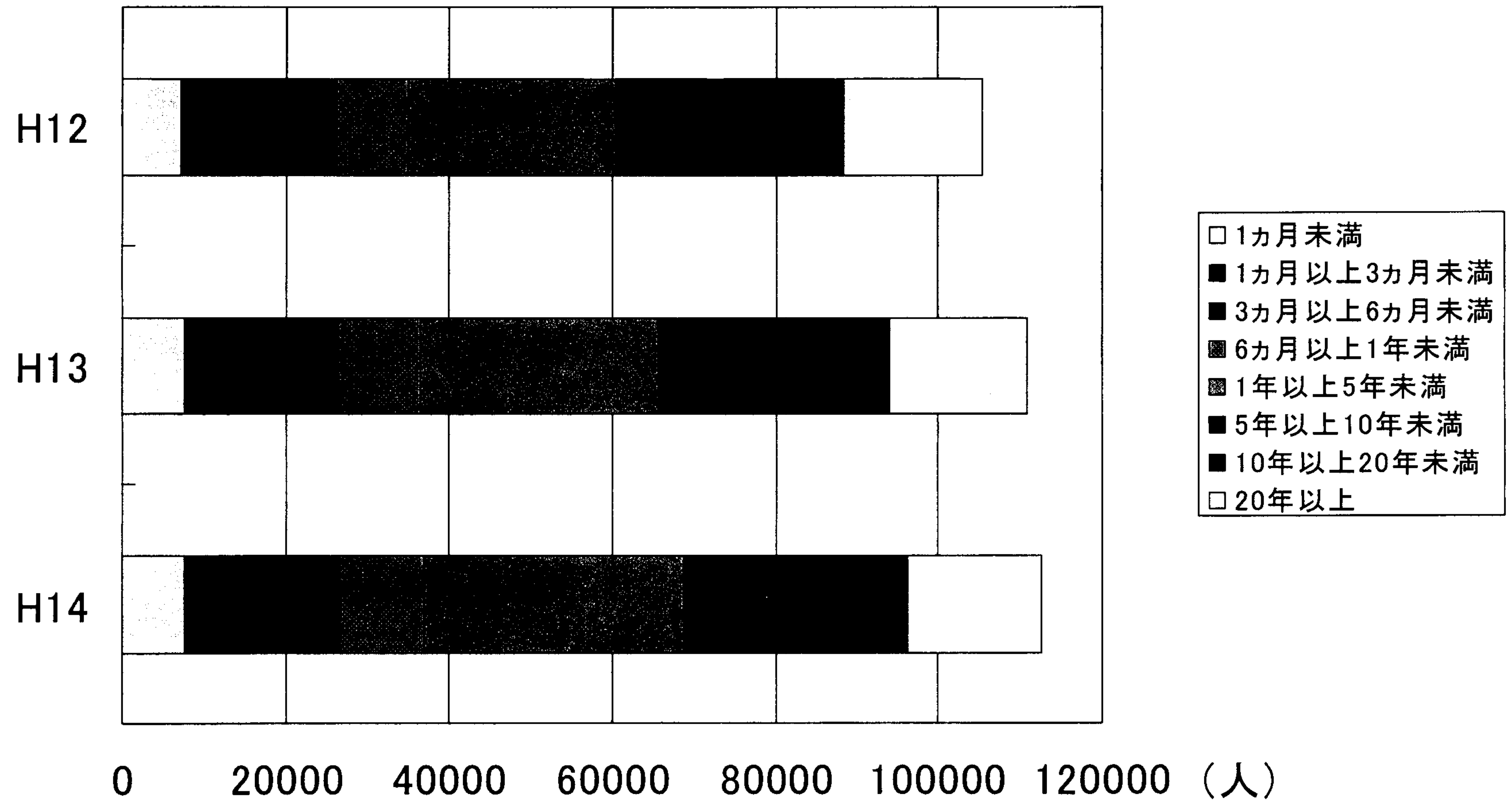
措置入院の在院期間別患者数推移



資料4－3

資料:精神保健福祉課調（H12～14）

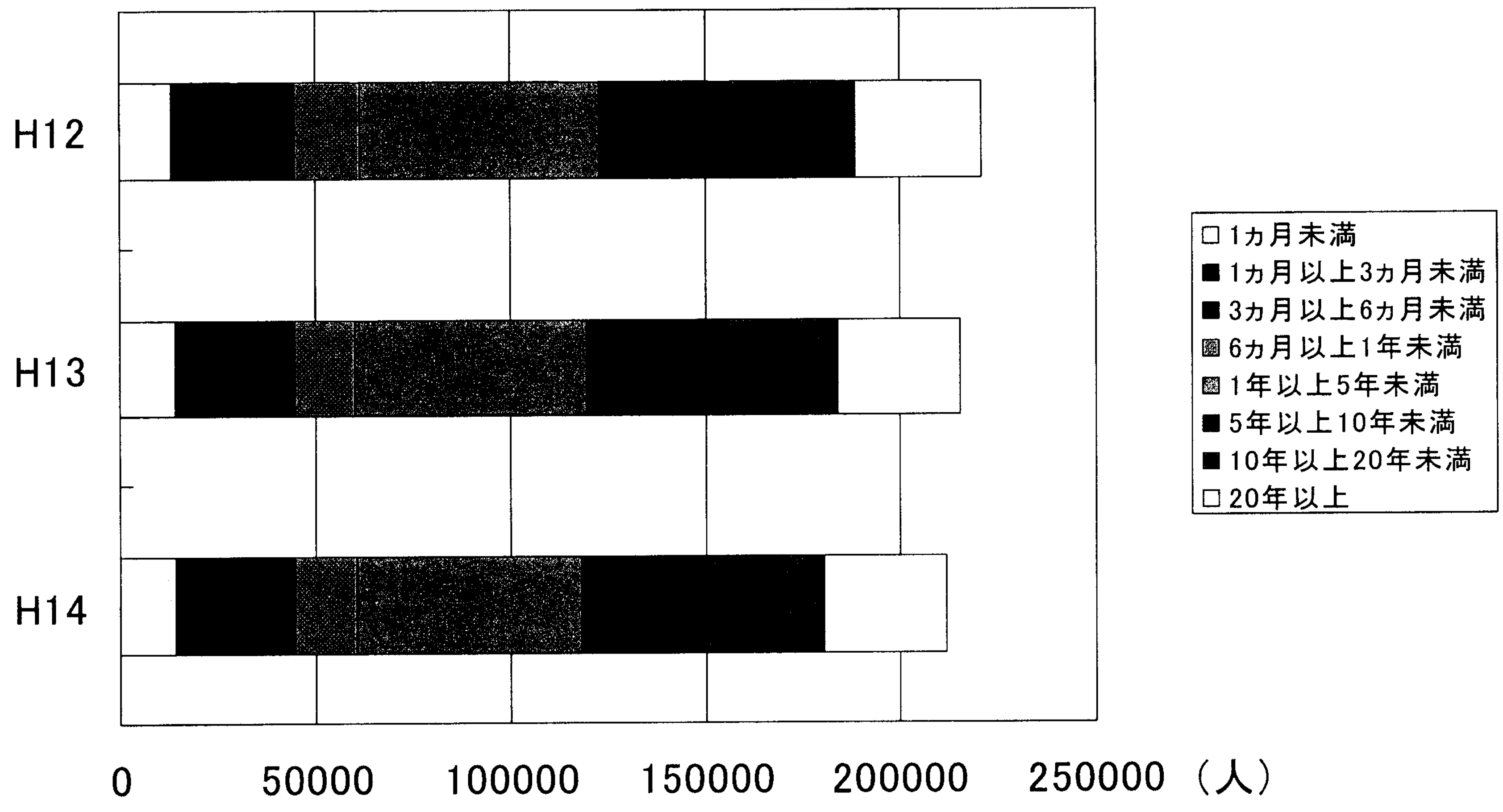
医療保護入院の在院期間別患者数推移



資料4－4

資料:精神保健福祉課調 （H12～14）

任意入院の在院期間別患者数推移

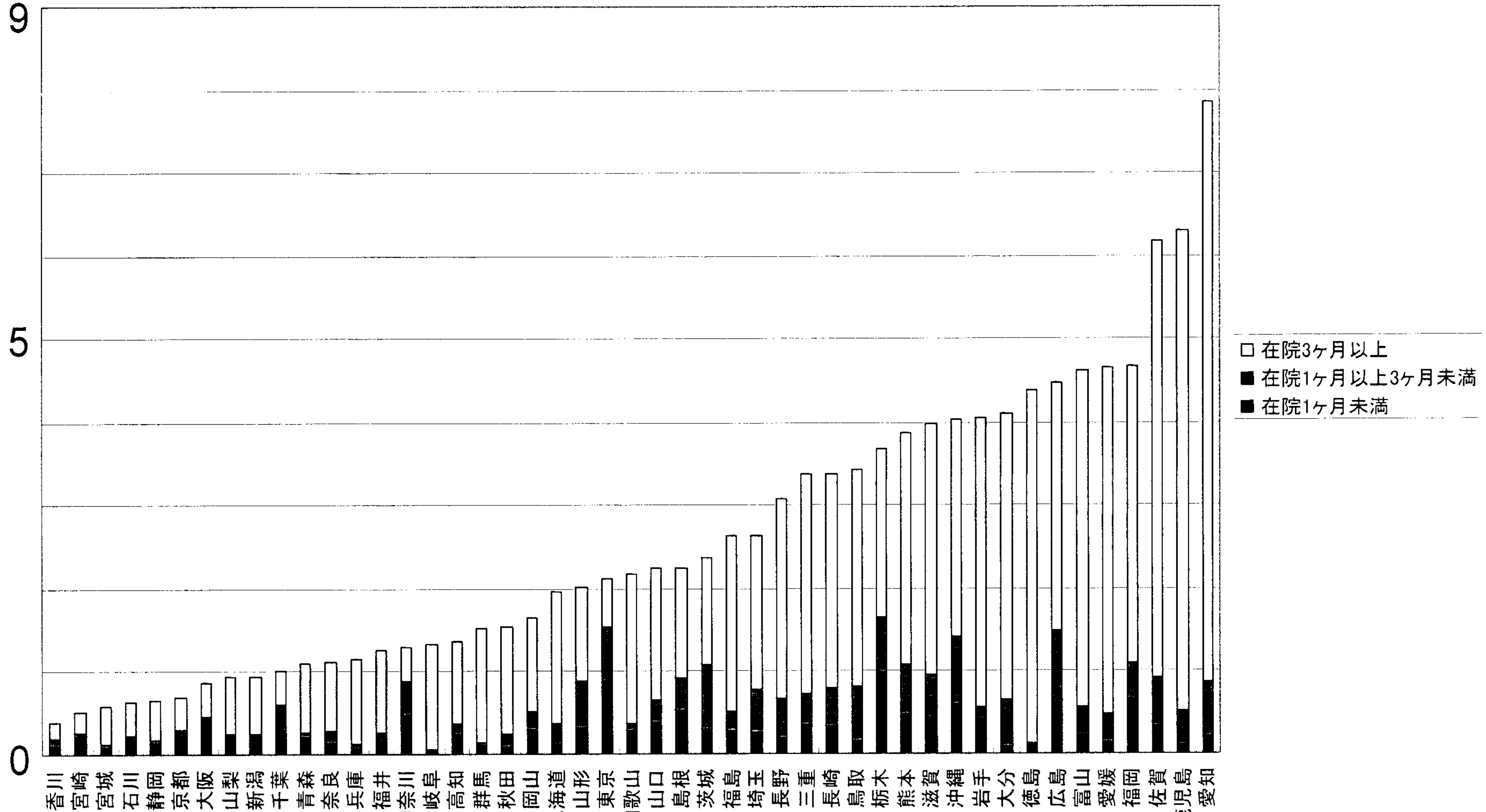


資料:精神保健福祉課調 （H12～14）

資料4－5

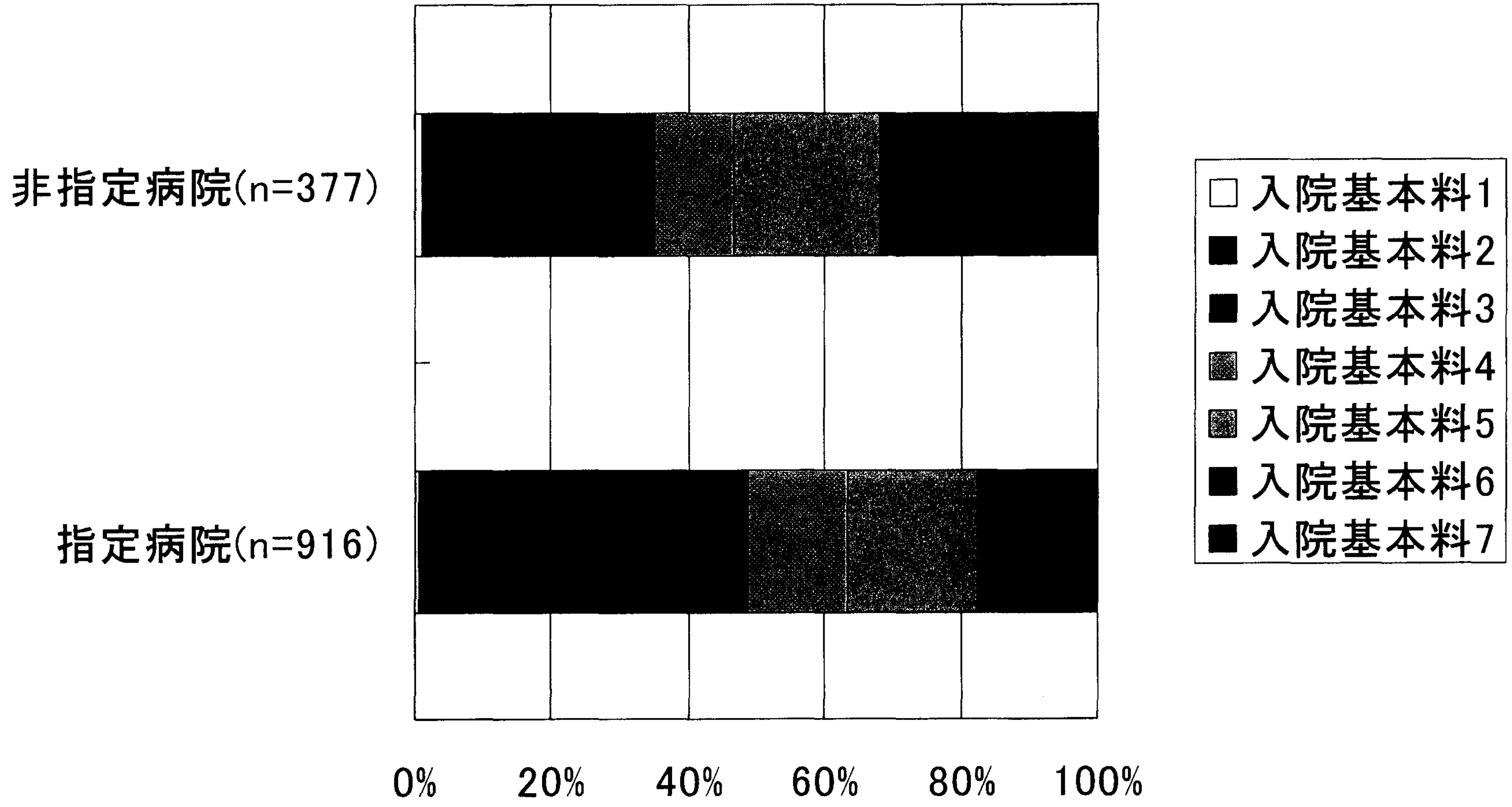
措置入院患者の在院期間

人（人口10万人あたり、都道府県別）　資料:精神保健福祉課調 (H14)



資料4－6

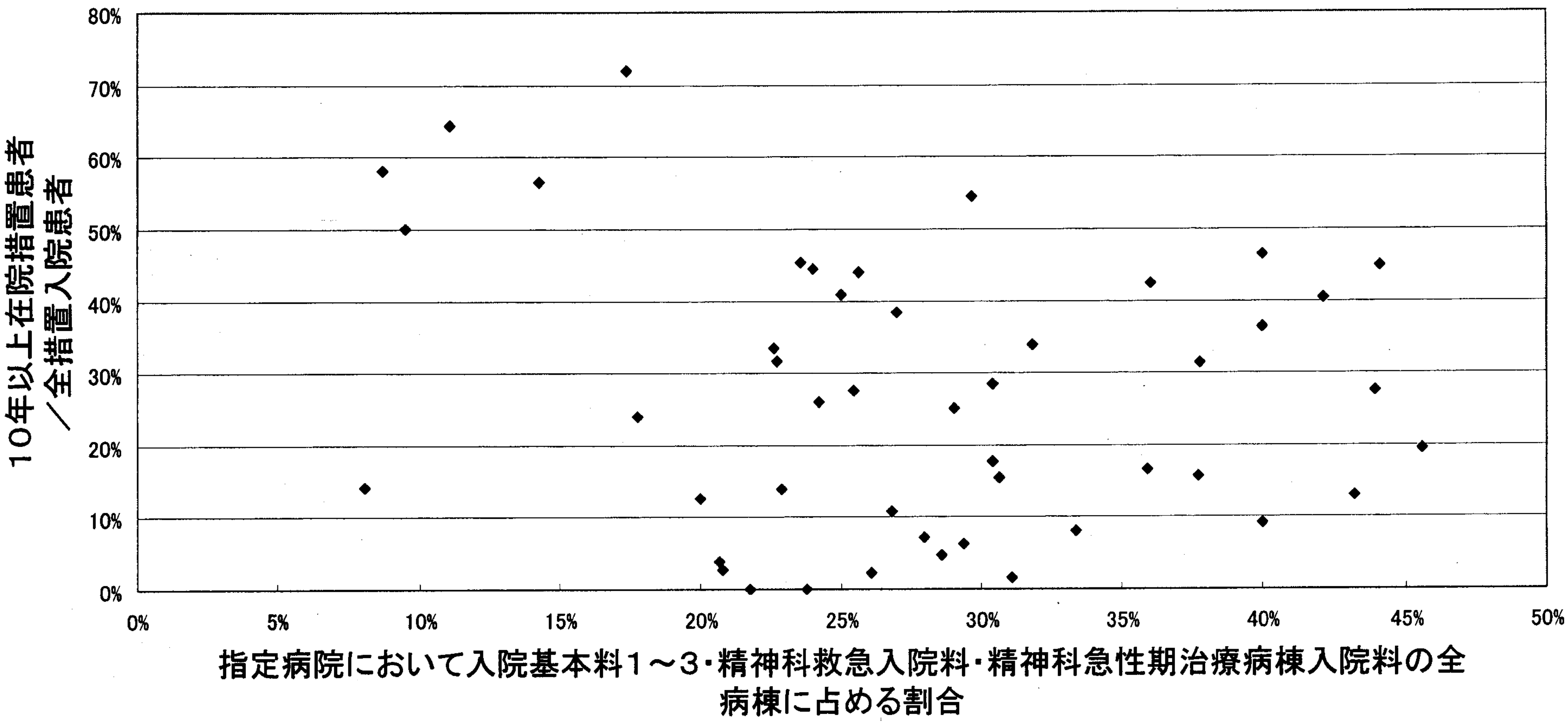
指定病院と非指定病院の入院基本料



資料4－7

資料：精神保健福祉課調　（H14）

指定病院の人員配置と長期在院患者



資料：精神保健福祉課調　（H14）

資料4－8

指定病院の基準（抄）

平成八年三月二十一日厚生省告示第九十号
平成一四年二月二一日厚生労働省告示第三〇号にて改正

一　次の掲げる人員を有し、かつ、都道府県知事又は指定都市の市長の求めに応じて措置入院者を入院させて適切な治療を行える診療応需の態勢を整えていること。

①　医師の数が、入院患者の数を三、外来患者の数を二・五をもって除した数との和が五十二までは三とし、それ以上十六又はその端数を増すごとに一を加えた数以上であること。

②　医師のうち二名以上は、常時勤務する法第十八条第一項の規定により指定された精神保健指定医であること。

③　看護師及び准看護師の数が、入院患者の数が六又はその端数を増すごとに一及び外来患者の数が三十又はその端数を増すごとに一以上であること。

二　精神病床の数が百床以上であること。ただし、地域における措置入院者に対する医療及び保護のための体制、当該病院の管理運営の状況等を勘案し指定する必要があると認められる病院であって五十床以上の精神病床を有するものについては、この限りでない。

三　措置入院者の医療及び保護を行うにつき必要な設備を有していること。

資料4－9